

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会
第11回広報・県民運動専門委員会 議事録（概要）

1 日時

平成30年(2018年)8月30日(木) 14:00～16:00

2 場所

滋賀県大津合同庁舎7-D会議室

3 出欠状況

委員27名中18名出席

出席：井口 貢委員長、東 登志也委員、板倉 成子委員、市岡 新也委員（代理：坂本様）、糸井 孝実委員、大田 祥登委員、北川 肇委員（代理：濱谷様）、坂田 しのぶ委員、寺田 佳司委員（代理：樋本様）、殿村 美樹委員、中村 康春委員、中村 俊英委員（代理：中邨様）、野村 智洋委員、廣瀬 香織委員、藤原 久美子委員、堀土 昌哉委員、松田 規久子委員、吉成 永部委員

欠席：天川 隆男副委員長、井尻 正志委員、上村 照代委員、北脇 康久委員、嶋津 栄之委員、清水 純一郎委員、藤本 正勝委員、村松 泰委員、八木 兵次郎委員

4 配付資料

別添のとおり

5 会議概要

審議事項（1）

※事務局から「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 愛称・スローガン募集要項、審査要領および部会設置要綱」について説明。

【質疑】

<委員>

2013年開催の東京都は、「スポーツ祭東京」という統一した愛称で国民体育大会と全国障害者スポーツ大会を表現していたが、本県においては、「国スポ・障スポ」の文言を使用して、愛称を分けるという認識でよいか。

<事務局>

「国スポ・障スポ」の文言を使用することとしている。また、「国スポ」のみ、「障スポ」のみでも使用していくこともある。

<委員>

資料3ページの11参考には、前回本県で開催したスローガンが明記されているが、びわこ大会のスローガンが明記されていないので、「わたしにも こんな力が いきがい」 というスローガンを明記してほしい。

<事務局>

申し訳ない。明記させていただく。

<委員>

商標登録の確認について、「ここ滋賀」を開設する時に数か月の期間を要したと記憶しているが、2週間で大丈夫か。

<事務局>

先催県の例を参考としているところ。また、もう少し期間を長くとも想定している。

原案を委員の提案をもとに一部修正し、委員長と協議の上、各委員に確認いただく旨、各委員了承。

審議事項（2）

※事務局から「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本計画の方向性」について説明。委員からの意見をいただく。

【意見】

1 取組（1）について

<委員>

歴史に関連することで、滋賀県は万葉のふるさととして知られているところもあるので、そのような歴史を取り入れたおもてなしの取組を実践してはどうか。

<委員>

琵琶湖のようにさわやかなおもてなしや、どこにいてもおいしい水があることを取り入れたい。

<委員>

食に関連することで、滋賀県はお米がおいしい。“国体米”のようなブランドを作り PR してはどうか。

<委員>

滋賀県は福祉先進県であり、“福祉の心”を表現できる文言を加えていただきたい。

<委員>

琵琶湖から連想されるものからイメージを膨らませてはどうか。また、前回びわこ国体・びわこ大会以降、県の取組として、「早寝・早起き・朝ごはん」のキャッチフレーズが現在もいわれている。県の取組と、琵琶湖から連想されることやものをマッチングした事業の展開はどうか。

<委員>

食に関するすることで、健康しがメニューを考案し、飲食店や、学校給食などにも取り組んでいくと良いと思う。また、民泊を実施するかどうかわからないが、滋賀の伝統食などを取り組んだレシピがあると良いのではないかと。さらに、県民全体でレシピやメニューなどを考える取組があると良いと考える。

取組（２）について

<委員>

障害の有無や年齢に関係なく誰もが楽しめる、バリアフリーのスポーツを実践することも大切だと考える。そのような実践によって、交流が生まれ、また障害への理解が深まっていくのではないか。

<委員>

（３）に関わることもかもしれないが、年代によって、企業としての参加も必要と考える。

<委員>

イベントなどで、子どもとトップアスリートが交流できる機会をつくってはどうか。

取組（３）について

<委員>

スタンプラリー等を実施して、どんな立場でも参加した証が残るものがあればよいと思う。SNSによる発信も大切。先催県では、俳句や川柳を募集していた。本県で取り入れもよいと思う。

<委員>

取組のすべてに該当すると思うが、滋賀の発酵食をPRしたり、滋賀オリジナルの体操を考案したり、「私の一押しスポーツ」をつくることや、地域単位で応援するスポーツを受け持つなどはどうか。

<委員>

子どもたちが、“自分たちも運営の主役だ”と感じられるキャッチフレーズや取組があると良い。

取組 全体について

<委員>

統計データを有効に利用してはどうか。県には、「滋賀県なんでも一番」という統計資料がある。それぞれの項目に活かしてはどうか。

<委員>

三方よしをキーワードとして使ってはどうか。

今回の意見を踏まえ、次回の専門委員会において、県民運動基本計画（素案）を審議する旨、各委員了承。

説明・報告事項（１）

※事務局から「第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 ポスター制作」について説明。
--

【質疑】

<委員>

周知方法に記載している広報誌とはどのようなものを考えているのか。

<事務局>

市町の広報誌等に掲載していただくことを想定している。

<委員>

先催県では、何枚の写真が使用されているのか。

<事務局>

2,000枚程度である。

以上